

平成22年第1回市議会定例会の開会に当たり、市議会並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りたく、市政運営に対します私の考え方の一端を申しあげまして、予算の提案説明とさせていただきます。

平成21年度は、厳しい財政状況の中、消費者・商業者や低所得者・高齢者などを対象とした緊急経済・生活支援対策事業、市制施行55周年の記念パレードや国府ロマン交流祭を盛大に行うなど、市民が「安心」して「元気」に生活できますよう施策の実施に力を入れるとともに、ごみの収集方法をダストボックスから戸別収集方式に改革する大きな一歩を踏み出した年でありました。

また、中学生以下の医療費全額助成をはじめとする新規・レベルアップ事業の実施により、各種の諸施策のさらなる充実を図り、市民生活を応援するなど、市民が豊かさや潤いを共に感じる事ができる「心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち」づくりを目指し、施策の展開に努めてまいりました。

これらの事業を着実に進展させることができましたのは、市議会並びに市民皆様の深いご理解と多大なるご協力の賜物でございまして、この場をお借りし、心より深く感謝申しあげます。

さて、市財政を取り巻く経済状況でございしますが、政府によりますと、景気は持ち直してきているが、自立性に乏しく、失業率が高水準であるなど依然として厳しい状況にあるとしております。また、先行きにつきましては、当面、厳しい雇用情勢が続くとみられるなか、海

外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されるとしておりますが、雇用情勢の一層の悪化や海外経済の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要があるとしております。

こうした中で、国の予算状況ですが、「コンクリートから人へ」をキーワードに、子ども手当・高校の実質無償化・暫定税率の見直しなどのマニフェストの実現と、行政刷新会議の事業仕分けの結果等による歳入歳出の見直しを行うなど、一般会計予算総額は9兆2,992億円で、前年度対比3兆7,512億円 4.2%増となっております。

また、東京都の一般会計予算総額は、6兆2,640億円で、3,340億円 5.1%減となっておりますが、「大幅な税収減に直面し、今後も厳しい財政環境が想定される中であって、都財政の健全性を堅持するとともに、東京の「現在」と「将来」に対して、今日、都が為すべき役割を積極的に果たす予算」と位置づけております。

なお、国の地方財政計画としては、その規模が8兆1,200億円で、4,357億円 0.5%の減、地方一般歳出は、6兆6,320億円で、1,014億円 0.2%増となっているとともに、国と地方が折半で財源不足を補てんするルールを引き続き適用し、地方交付税を1.1兆円増額しております。

本市の平成22年度当初予算につきましては、歳入では、市税と地方譲与税、利子割交付金などの各種交付金や、競走事業からの収益事業収入の減少などが見込まれ、これらの減収額が約14億9,000万円となる厳しい財政状況の中で、編成いたしました。

これらの減収につきましては、歳出において経常経費の一部及び投資的経費それぞれの予算を枠配分し、各部の創意工夫の中で予算編成を行いつつ、歳入については、事業債の最大限の借り入れと基金計画に基づく基金の繰入、国・都支出金の活用などに加え、財政調整基金の繰入れと臨時財政対策債の借入れの増額などにより対応いたしました。

歳出におきましては、「心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち」「美しい風格ある 元気なまち」づくりを基本に、市民が将来に希望を持っていきいきと安心して暮らせるような、市民生活を守るとともに、明日に踏み出す活力ある予算として編成しております。

予算編成に際して配慮いたしました点を具体的に申し上げますと、一つ目は、景気が低迷する中で市民の生活を守るため、消費者・商業者、低所得者、高齢者、障害者、子育て・ひとり親世帯に対する支援として、妊婦健康診査の公費負担の拡大など「安心」をキーワードとした緊急経済・生活支援対策事業を、前年度に引き続き21事業を実施いたします。

二つ目は、府中市美術館10周年記念事業など、市民が「いきいき」となるような府中らしい特別枠事業を9事業実施いたします。

三つ目は、保育所の定員増加をはじめ、これまで実施してきた福祉、環境や教育等の諸施策のさらなる充実をはかり、市民が安心して暮らせるよう、新規事業を34事業、レベルアップ事業を34事業実施いたします。

四つ目は、学校の耐震化をはじめとする公共施設の耐震化、老朽化

対策事業を行い、安全・安心なまちづくりを行うとともに、「（仮称）ふるさと府中歴史館」の整備や、府中駅南口地区市街地再開発事業など「明日に踏み出す」事業を実施いたします。

この結果、一般会計の予算額は、８８９億５，０００万円で、６３億３，０００万円　７．７％増で、過去最大の予算規模となっております。

また、特別会計を含めた予算総額は、２，３５０億７，５４６万１千円で、２３億１，０４０万２千円　１．０％減となっております。

それでは、平成２２年度の市政の運営につきまして、「心ふれあう緑ゆたかな　住みよいまち」の実現を目指した４つの柱に沿いまして、それぞれ主な事業のご説明を申しあげてまいります。

はじめに、第１の柱は、「安心でいきいきと暮らせるまちづくり」でございます。

健康推進事業といたしましては、女性特有のがん検診事業を継続実施するなど、引き続き市民の健康づくりに積極的に取り組んでまいります。また、元気フォーラム事業のさらなる充実を図り、健康応援事業の推進に努めてまいります。

子育て支援につきましては、昨年１０月から実施しました義務教育就学児童にかかる医療費の自己負担額分の全額助成を通年で所得制限なしで実施してまいります。

また、子育てを社会全体で応援するという観点から、これまでの児童手当の支給から、中学生まで対象児童を拡大して子ども手当を支給してまいります。児童扶養手当につきましては、対象を母子家庭に加え父子家庭へ拡大してまいります。

子ども家庭支援センター「たち」では、児童虐待マニュアルを改訂し、関係機関との連携をさらに強化し、要保護児童等の発生予防、早期発見、早期対応に努めてまいります。

保育所の待機児解消に向けては、4月から民間の認可保育所2園の開園と既存園の改修や定員の見直しにより、179名の定員増を予定しております。さらに、23年4月に向けて、民間の認可保育所1園と分園1園の開園等により約100名の定員増を図るため、施設整備費等の補助を行うとともに、特定保育事業では、0歳から2歳児までの待機児解消策の一つとして、利用料の一部を補助して負担軽減を図ってまいります。

学童クラブ事業につきましては、「放課後子どもプラン検討協議会」などを通じて、地域住民や関係団体との連携をさらに密にし、安心して子どもが活動できる環境の充実に努めてまいります。

高齢者福祉施策といたしましては、介護保険事業の円滑な運営により、充実した各種の介護サービスを提供するほか、特別養護老人ホームの増床に取り組むとともに、地域密着型サービス施設の整備を計画

的に進めてまいります。

また、認知症対策事業として、新たに、介護者の負担軽減のための見守り支援事業や緊急ショートステイ事業を実施するなど、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援してまいります。

障害者福祉施策といたしましては、保護者による通学の付き添いが困難な家庭などに対して登下校の支援を行う移動支援事業を新たに実施してまいります。

また、高次脳機能障害や困難事例における相談支援体制を充実するとともに、子ども発達支援事業の外来部門を拡充するなど、障害のある方が地域で安心して自立した生活ができるよう引き続き支援してまいります。

住宅施策につきましては、平成21年度に着工した市営第十二北山町住宅改築事業の平成22年度竣工を目指すとともに、市営第七西府町住宅の改築事業を進めてまいります。

また、住宅耐震化への支援として、民間木造住宅の耐震診断助成を充実してまいります。

国民健康保険につきましては、保険給付や特定健診など保健事業の充実に取り組んでまいります。

後期高齢者医療制度につきましては、国の動向に注視し、東京都後

期高齢者医療広域連合と連携を図り、制度の運営に取り組んでまいります。

地域福祉の推進につきましては、ユニバーサルデザインの考え方を基本とした整備基準について、新たに施設整備ハンドブックを作成するとともに、分かりやすいリーフレットを配布するなど、広く市民や事業者などに制度の周知につとめ、福祉のまちづくりを着実に推進してまいります。

第2の柱は、「安全で快適に住めるまちづくり」でございます。

水と緑が輝く潤いのあるまちづくりをすすめるため、金塚桜広場を開設するとともに、郷土の森博物館前の拠点施設の建設に着手してまいります。

本市のシンボルでもある国指定天然記念物「馬場大門のケヤキ並木」につきましては、管理団体として、適切な保全・保護に取り組んでまいります。

環境保全の取組につきましては、地球温暖化防止対策を推進するため、実効性のある府中市地球温暖化対策地域推進計画を策定するとともに、引き続き太陽光発電システムなどの設置に対して支援してまいります。

また、本市をとりまく自然環境・生活環境の変化などに伴い、環境基本計画の進捗状況を点検し、見直してまいります。

環境美化につきましては、自治会や商店会及び企業等との美化協定締結などを推進し、自主的な環境美化活動を促進してまいります。

また、喫煙禁止路線でのパトロール活動を強化して、市民の良好な生活環境の確保に努めてまいります。

墓地整備事業につきましては、市民の墓地需要等を踏まえ、整備計画について稲城市との協議を進めるとともに、基本設計を行います。

ごみの減量とリサイクルの推進につきましては、市民への新しい収集方式のさらなる定着を図り、事業系ごみのリサイクル促進、集団回収の拡充や店頭回収の充実、生ごみの資源循環システムの構築を推進し、「ごみ50%削減」「リサイクル率日本一」の実現を目指してまいります。

災害に強いまちづくりでは、災害対策本部の運営に関する各種マニュアルを整備していくとともに、府中消防署内に併設する「府中市中央防災センター」の竣工により市、消防署及び消防団のさらなる連携を強化し消防・防災力を充実してまいります。

防災対策の強化につきましては、市内東部地域に水害や大規模災害



の拠点となる「府中市水防・防災ステーション」の運用を開始するとともに、防災行政無線の改修やヘリサインの設置など、防災・消防設備の整備に努めてまいります。

また、震災時の被害を軽減するため、引き続き簡易耐震診断調査の実施や家具転倒防止器具の配布などを行い、安全に住めるまちづくりを進めてまいります。

交通安全対策につきましては、警察や関係団体などと連携して交通安全対策や思想の普及啓発を行うほか、交通安全灯やカーブミラーの増設など施設の整備を図ってまいります。

また、幼児・児童に対する交通安全の推進につきましては、自転車ヘルメットや幼児2人同乗用自転車の購入費の助成を行ってまいります。

防犯対策につきましては、市内における犯罪の発生を防止するため、警察や関係団体をはじめ市・市民・事業者などが連携・協力し、防犯パトロールなどの各種犯罪防止活動を推進するとともに、安全・安心メールの充実を図り市民生活の安全確保に努めてまいります。

第3の柱は、「人と文化をはぐくむまちづくり」でございます。

男女共同参画につきましては、第4次府中市男女共同参画計画や市民参加の推進懇談会からのご意見などをもとに、男女平等の意識啓発

及び普及を図り、男女共同参画社会の実現に努めてまいります。

生涯学習につきましては、新たに明治大学との連携講座を実施するほか、地域の担い手（ファシリテーター）や生涯学習サポーターを育成する講座を開始するとともに、地域にある豊かな経験を若い世代に伝える学習活動支援を図るなど、市民と行政の連携・協働を一層進めてまいります。

図書館では、市民ボランティアとの協働を一層進め、インターネットやデータベースを活用した、きめ細かなレファレンスサービスなど、情報化社会に適応した図書館サービスの充実を図ってまいります。

郷土の森博物館では、地域に根ざした特別展を開催するとともに、梅まつり、あじさいまつりなどの園内事業を充実させてまいります。

開館10周年を迎える美術館では、コレクションの核となる美術作品の収集を行うとともに、国内外の美術館とのネットワークを活かした記念展などを開催し、質の高い美術作品を身近に鑑賞できる機会を充実してまいります。

また、NPOや美術館ボランティアとの協働を促進するほか、学校・地域との連携事業などの美術普及に努めてまいります。

府中の森芸術劇場では、改修工事が9月に完了となるため、リニュー

ーアル記念事業を実施してまいります。

文化財につきましては、武蔵府中熊野神社古墳の関連施設、及び「(仮称)ふるさと府中歴史館」の整備事業を引き続き行うとともに、武蔵国府跡の保存活用、ケヤキ並木の保護を一層推進し、本市の文化財を広く紹介する機会として、「ふるさと再発見武蔵府中歴史まつり2010」を開催いたします。

スポーツ・レクリエーションにつきましては、スポーツ振興推進計画にもとづき、総合体育館を中心とする各種スポーツ施設の今後の運営のあり方について検討する協議会を立ちあげてまいります。

また、平成25年の国民体育大会の円滑な開催を目的に、実行委員会を設置し、準備を進めてまいります。

幼児教育の充実につきましては、公立幼稚園における障害のある幼児の受け入れを5歳児から4歳児に拡大するとともに、引き続き施設の耐震化を実施してまいります。

学校教育につきましては、小学校における外国人講師を活用した英語活動や、中学校における外部指導員の活用による部活動の充実などを図るとともに、全小・中学校で、地球温暖化防止等環境問題に対する意識を高めるための、環境教育を引き続き推進してまいります。

また、算数・数学のティーム・ティーチング、少人数指導を継続し、

学力の一層の定着を図ってまいります。

さらに、小学校5年生を対象に、宿泊体験学習の充実を図るため、4泊5日の府中版セカンドスクールを2校において試行してまいります。

学校保健につきましては、児童・生徒の健康づくりの推進を図るため、学校保健推進計画を着実に推進してまいります。

学校給食につきましては、第一、第二給食センターともに老朽化が進んでいることから、市民参加の協議会を設置し、施設整備等について検討してまいります。

学校施設につきましては、引き続き、小学校11校、中学校7校の耐震化を進めるとともに、校舎の改築に向けた実施設計などを、小学校1校、中学校1校で進めてまいります。

また、引き続き、小学校1校の校庭の芝生化を実施してまいります。

青少年の健全育成につきましては、引き続き「放課後子ども教室事業」を全小学校で実施するとともに、スタッフ養成講座を実施するなど運営体制の充実を図りサービスの質の向上に努めてまいります。

NPO・ボランティア活動につきましては、市民提案型市民活動支援事業の拡大を図るほか、NPO・ボランティア活動センターの運営

をさらに充実してまいります。

文化センターにつきましては、中央文化センターの耐震改修工事の実施設計及び押立文化センターの改築工事の基本設計を実施するほか、各文化センターに利用者の安全・安心のために防犯用カメラを設置してまいります。

都市間交流でございますが、ウィーン市ヘルナルス区への高校生等のホームステイ派遣事業など、相互の交流を一層深めてまいります。

また、佐久穂町との交流では、幅広い世代の人も交流に参加でき、環境に対する意識啓発にもつながる森林間伐体験事業を新たに実施いたします。

第4の柱は、「にぎわいと魅力のあるまちづくり」でございます。

計画的な土地利用の推進につきましては、府中都市計画に関する基本的な方針に基づき、取り組んでまいります。

まちづくりにつきましては、地域特性を生かした住みよいまちの実現のため、市民の主体的なまちづくり活動に対し、専門家を派遣するなどの支援を引き続き行ってまいります。

府中駅南口再開発事業につきましては、平成22年度初頭に設立が予定されているA地区の本組合に対して権利変換計画の策定に向け、

再開発事業を積極的に支援してまいります。

宮西町地区のけやき並木周辺整備につきましては、宮西町地区道路整備計画を推進するため、市道4-14号拡幅用地の暫定整備を実施するほか、新設道路の用地測量を実施してまいります。

西府土地区画整理事業につきましては、事業の早期完成に向け、引き続き組合に対して支援してまいります。

また、日新町四丁目土地区画整理事業につきましても、組合に対する支援を行い、事業の着実な推進を図ってまいります。

景観の保全と形成につきましては、景観賞のフォローアップを実施するとともに、デザインに関する景観ガイドラインを策定するなど、良好な景観形成を図ってまいります。

公共交通の利便性の向上につきましては、市内の鉄道4駅において、エレベーターなどの整備補助を行い、バリアフリー化を促進してまいります。

コミュニティバスにつきましては、市民参加による検討協議会で今後のコミュニティバス事業の運営などのあり方について、引き続き検討してまいります。

交通の円滑化と安全性の確保につきましては、是政通りの整備を進めるとともに、桜を含めた桜通りの改修計画を策定し、歩行者などの移動の円滑化を図り、みちづくりバリアフリー化整備を計画的に進めてまいります。

道路整備につきましては、府中都市計画道路3・4・16号の事業を進めていくとともに、狭あい道路の拡幅整備事業の推進、既存道路の改良・補修工事、街路樹の剪定など道路の適正な管理を行ってまいります。

また、中央自動車道府中バスストップ周辺に計画しているスマートインターチェンジの設置につきましては、国や東京都及び中日本高速道路株式会社と協力して進めてまいります。

下水道施設の機能確保につきましては、引き続き改修計画を策定し、取組んでまいります。

電子自治体の推進につきましては、情報セキュリティや個人情報保護対策の強化を進めるとともに、引続き基幹システムの安定稼働に努めてまいります。

また、市民の納税に対する利便性の向上を図るため、コンビニエンスストアなどでの納付の機会の拡大に努めてまいります。

商工業の振興につきましては、市民生活の支援と商業の活性化を図るため、昨年に引き続き、むさし府中商工会議所が実施する「プレミ

アム付商品券」発行事業に助成をしてまいります。

また、開催50回目を迎える商工まつりにつきましては、記念イベントを実施するなど支援を充実してまいります。

観光につきましては、施策の方向性やビジョンを明確にするために、市民参加による検討協議会を設置し、府中市観光振興プランの策定を進めるとともに、郷土の森梅まつりはじめ本市の観光PRをより一層推進してまいります。

消費生活につきましては、国における消費者庁の設置を踏まえ、消費生活相談や消費者啓発事業のさらなる充実を図ってまいります。

農業の振興につきましては、都市農地の保全に取り組むとともに、市内の農産物をPRするなど、地域に根差した農業を推進するため、市民が広く農業と触れ合う機会を引き続き確保してまいります。

以上、平成22年度の市政の運営につきまして所信の一端を申し述べましたが、私は、景気が低迷する中であっても市民サービスの質を維持させるとともに、充実した施策を展開し、25万市民の皆様がいつまでもこのまちに住むことを誇りに思っただけのような、市民が主役の「美しい風格ある 元気なまち」・「やさしさあふれるまち」づくりを目指して、力の限りを尽くしてまいりたいと考えております。

ここに、市議会議員の皆様並びに市民皆様のご理解とご協力を賜り



ますよう、心からお願いを申しあげまして、市政の運営方針といたします。